

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19104007	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	量子ドット・細線の量子コヒーレンスの検出と制御	研究代表者 (所属・職)	樽茶 清悟（東京大学・大学院工学系研究科・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>量子相関の定量的評価、量子ドット系でのスピン軌道相互作用の制御など、独自のアイデアに基づき研究がなされている。例えば、二個の電子の量子ビット制御、近藤系、超伝導系における観測等であるが、着実に優れた成果が得られている。これらの成果は、評価の高い雑誌での論文発表、招待講演、学会発表、更には多くの新聞等で公表されており、結果を残す努力も充分である。研究組織内の連携も充分である。このまま順調に進めば、当初の目標を超える成果が期待できる。</p>		